

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位	2単位	年次	1年次
使用教科書	高等学校 家庭基礎 グローバル&サステナビリティ			教育図書			
副教材							

1. 担当者からのメッセージ (学習方法等)

高校時代は、今まで生きてきた個々の成長過程の中で、つちかわれた人間としての基本的な生活習慣を改めて見直すもつとも大切な時期です。さまざまな能力を身につけ自立し、色々な人生観や価値観があることを認め、尊重又かつ共生していくことが大切と考えます。さらに生涯生きていく上で必要な知識と技術を身につけるために学ぶ教科です。机上の理論として表面的に理解するのではなく、すべて自分のこととして主体的に捉え、授業や課題に取り組み、実践するように心がけてください。

2. 学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実に資する能力と実践的な態度を育てる。

3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 技能	d: 知識・理解
観 点 の 主 旨	人の一生と家族・家庭・福祉・衣食住・消費生活、その他について、関心を持ち、その充実に資するよう、主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。	人の一生と家族・家庭・福祉・衣食住・消費生活、その他について、生活の充実に資するよう課題を見出し、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫創造する力を身につけている。	人の一生と家族・家庭・福祉・衣食住・消費生活、その他に関する基礎的・基本的な技術を身につけている。	人の一生と家族・家庭・福祉・衣食住・消費生活、その他に関する基礎的・基本的な知識を身につけている。
評 価 方 法	学習状況の観察 レポート プレゼンテーション グループ発表	学習状況の観察 レポート プレゼンテーション グループ発表	学習状況の観察 実技授業の観察 実技授業レポート テスト	学習状況の観察 レポート 実技授業レポート テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

月	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4	青年期の自立と家族	おもに青年期の自立について学習する	○	○		○	a.各ライフステージの特徴や課題について関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 b.現在の自分の課題を見出し、その解決を目指し、考えて表現している。 d.家族の機能について理解し、現在の問題点や家族の法律について理解ができる。	
5	青年期の自立と家族	おもに家族について学習する	○	○		○	a.各ライフステージの特徴や課題について関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 b.現在の自分の課題を見出し、その解決を目指し、考えて表現している。 d.家族の機能について理解し、現在の問題点や家族の法律について理解ができる。	
6	子どもの発達と保育	子どもを理解し、社会の一員として子どもを見守る意識と、将来親となるための基礎知識を得る	○	○	○	○	a.子どもの発達、保育について関心を持ち、意欲的に学習する。 b.発達の段階と子どもに対する理解をもち、関わり方を学び、考える。 c.実技実習で、保育の技術を体験、取得する。	
7	高齢期の生活	高齢期についての理解を深め、高齢化社会に生きる知識と自らの今後を考える	○	○		○	a.高齢者について理解を深めようとしている。 b.高齢化社会の課題を知り、今の自分がすべきことについて考え、表現している。 d.高齢期の経済・介護・保険制度について理解している	
8								

9	共生社会と福祉	共生社会についての知識と理解を得る	○	○		○		a.共生社会についての理解をすすめるようとしている。 b.共生社会を支える課題に対して、問題意識をもって調査できる。 c.レポートした内容をプレゼンテーションで伝えることができる。	授業観察 グループ討議 ・ワークシート 発表 テスト
10	食生活と自立	生涯を通じて、健康で安全な食生活を営むことができる知識と基礎的な技術を見つける	○	○	○	○		a.食事と栄養・食品これからの食生活に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 b.青年期の食事の重要性、適切な食事摂取量について考えられる。	
11	食生活と自立	生涯を通じて、健康で安全な食生活を営むことができる知識と基礎的な技術を見つける	○	○	○	○		c.基本的な調理技術を学び、基本的な日常食をつくる技術を身につけている。 d.健康で安全な食生活を送るための基礎知識を身に付けている。	
12	住生活と自立	安全で快適な住生活を営むために必要な知識を身につける	○	○		○		a.住居と住生活について関心を持ち、意欲的に学習に取り組む。 b.住居についての情報を理解し、契約等についての基礎知識を習得する。 d.安全で快適な住生活を営むために必要な知識を身につける。	
1	衣生活と自立	被服の役割を知り、健康で快適な被服管理と着装について学ぶ	○	○	○			a.被服の役割や環境とのかかわりに関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b.衣服の素材や構成を知り、自身の衣生活について考えることができる。 c.基礎的な裁縫技術を身につけることができる。	
2	消費生活と経済	生涯にわたって必要な基礎的な消費生活と家庭経済について学ぶ	○	○		○		a.消費生活と家庭経済について、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b.経済的な自立を目指して、課題をレポートに記すことができる。 d.消費者問題についての理解と対処の方法の知識を得ている。	
3	ライフスタイルと環境	持続可能な社会を構成する一員となるための意識を高める	○	○		○		a.今後のライフスタイルと環境について意欲的に学習をすすめるようとしている。 b.持続可能な社会のために必要なことを理解できる。 d.環境保全のための知識を理解している。	

※表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現 c: 技能 d: 知識・理解

※原則として一つの単元・題材で全ての観点について評価することとなるが、学習内容・小単元の各項目において重点的に評価を行う観点もしくは重み付けを行う観点について○を付けている。